62 支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】						
事業所番号	事業所番号 0170201545					
法人名	有限会社プロケア					
事業所名	グループホームゆうあい(2階)					
所在地	札幌市北区篠路2条7丁目6番30号					
自己評価作成日	平成25年9月30日	評価結果市町村受理日	平成25年12月10日			

※事業所の基本情	青報は、介護サービス情報の公表	:制度の公表センター	ページで閲覧してください。
# let to 1 > 5 + 1 to 1	http://www.kaigokensaku.jp/01/	index.php?action koul	hyou detail 2011 022 kani=t
基本情報リンク先URL	0. 1' O-I=01700	001E4E 000D(0.1=0	1101/

rue&JigvosvoCd=0170201545-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】 評価機関名 有限会社 ふるさとネットサービス 札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階 所在地 訪問調査日 平成25年10月15日

【事業所が特に力を	入れている点・アヒ	ピールしたい点(薬	事業所記入)】	
【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】				

	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該닄	取り組みの成果 当するものに〇印
	ウェル ショネのヨント原い、草ン・ナのキウナ	○ 1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め		1. ほぼ全ての家族と
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる	2. 利用者の2/3くらいの	63	アンフェレナ レノ味い アわり	0	2. 家族の2/3くらいと
0	(参考項目: 23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの	03	<u>්</u>		3. 家族の1/3くらいと
	(9·7)	4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
		O 1. 毎日ある		7.08450 - 1.08420 - 1.043		1. ほぼ毎日のように
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある	2. 数日に1回程度ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている		2. 数日に1回程度
,	のる (参考項目:18,38)	3. たまにある	04	(参考項目: 2,20)	0	3. たまに
	(多有英日:10,00)	4. ほとんどない		(多行及日:2,20)		4. ほとんどない
		○ 1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	0	1. 大いに増えている
8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利用者の2/3くらいが	65			2. 少しずつ増えている
Ö		3. 利用者の1/3くらいが	00			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない				4. 全くいない
		1. ほぼ全ての利用者が		6 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が
^	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ 2. 利用者の2/3くらいが	66			2. 職員の2/3くらいが
9	(参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(少行項目:50,57)	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		○ 1. ほぼ全ての利用者が			0	1. ほぼ全ての利用者が
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3くらいが	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う		2. 利用者の2/3くらいが
U	(参考項目:49)	3. 利用者の1/3くらいが	07			3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	11.00 表 11.1	○ 1. ほぼ全ての利用者が			0	1. ほぼ全ての家族等が
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく	2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスにお		2. 家族等の2/3くらいが
61	過ごせている (参考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが	80	おむね満足していると思う		3. 家族等の1/3くらいが
	(沙行-快口:30,31/	4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが				

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果

自己	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価	Х 1	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念	に基づく運営			
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	理念の中にあるケアの質の向上を目指し、入居者が 笑顔で安心した暮らしが出来るよう、理念を共有し 実践につなげている。		
2		利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流 している	町内会行事の参加をし、交流を行っている。		
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	清掃や町内会の集まりに参加しているが、地域の方々の認知症への理解が乏しい。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を活かし、今年は避難訓練を昼間・夜間想定を行い、認知症の方にどういう形の非難が良いのか真剣に取り組み、そこでの意見をいかしている。		
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	協力関係を繋げるよう取り組みをするが、担当者が かわってしまう事があり、充分ではないと思われる		
6		で表有のよび主での職員が、指定地域沿海空が一 ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	通常、居室や居間の入り口には鍵はかけておらず、 夜間はスタッフが一名のため、居室への巡回時のみ 出入り口に鍵をかけている。ご家族相談のうえ、ご 理解を得ている。		
7					

自己	自 外 己 部 平 評 西 価		自己評価	外部	評価
評価	評価	久 口	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援 している	必要性があれば支援するが、今のところは活用にいたっていない。		
9	/	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	管理者を中心に、理解・納得をしていただき、解約などの手続きを行っている。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並 びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に 反映させている	意見・要望を外部者へ表せる機会を、運営推進会議 等を利用して設け、反映させている。		
11		代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者とは職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映しているが、代表者とは乏しい。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条 件の整備に努めている	管理者中心に行っており、代表者が把握しているかは不明な所もある。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	研修を受ける機会は少ないが、回覧として情報が 回ってくるため、参加出来る限り行っている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている	管理者中心に行っているため、代表者が取り組みを 把握しているかは不明な所もある。取り組み事態は 随時向上を目指し行われている。		

自己	外部		自己評価	外部	評価
評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
П.5	安心。	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時の情報提供書や、ご家族からのライフヒスト リー表を元に関係作りに努めている。		
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	管理者を中心に、情報交換を行いながら家族との関係作りに努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者を中心に入居者の意志を尊重できるように話し合いを行い、必要ならば他サービスの検討に努めている。		
18		〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日頃の様子や会話から読み取り、本人との関係作りを築いている。		
19		職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	行事のお誘いや、毎月のお手紙などを利用して、面 会の少ない入居者家族にも、絆を築いていくように している。		
20		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在の入居者に関しては家族以外の面会は少ない。 郵便物や電話もまれにある程度にて、希望があれば 支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	珈琲タイムや、レクリエーションなどを利用して入居者同士の関係を築けるようにしている。居室にこもりがちな入居者には、スタッフが訪室して関係を作れるように努めている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み	管理者中心に連絡を取り合って、フォローや支援を 行っている。		
		の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている			
24	/	〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ライフヒストリー表などを利用して、今までの暮ら し方等の把握に努めている。		
25	/	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	本人の意志を尊重して日々生活出来るように努めている。		
26		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ れぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した 介護計画を作成している	毎月のミーティングを利用したり、管理者の意見や 他職種の意見を参考に、介護計画を作成している。		
27	/	〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントシートや申し送りを利用して共有し、 介護計画に活かしている。		
28	/	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29	/	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のお祭りへ参加したり、散歩などを利用して 行っている。		
30		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	往診のドクターや、必要時には専門医への受診を家族中心に納得のいくように対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部	評価
評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	週一回の訪看などを利用して、普段より気軽に相談できる体制になっている。		
32		また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、環境変化の不安や病院との情報交換のため、交代でスタッフが面会を行っている。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、 実践力を身に付けている	定期的には受けていない。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと もに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い、地域との協力体制を築けるようにしている。		
		の人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36			声のトーンや否定する言葉は避け、本人本位で生活が出来るようにスタッフ同士声がけを行っている。		
		日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている			
38		人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、入居者本心の意志を尊重して支援を行っている。		
39	/	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	希望出来る方は意見を尊重し、意思表示が出来ない 方はご家族に相談しながら行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価		
評価	外	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
40		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	必ず職員が各テーブルに座り、会話をしながら食事が楽しくなるように心がけ、入居者と共に片付けを 行っている。			
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	食事量を個々に合わせ、支援している。			
42		人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	訪問歯科医や衛生士の指導の元、出来ないところを 介助し清潔が保たれるようにケアしている。			
43		の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の残存機能を活かし、排泄パターンを把握 することで、声がけや介助を行っている。			
44	/	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	飲食物の他に訪問医との連携も大切にし、個々に合わせて支援を行っている。			
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決め てしまわずに、個々にそった支援をしている	決められた日は設定しているが、状況に応じて必要 時は入浴を行っている。			
46	/	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している				
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	処方箋などを利用して、把握し努めている。			
48	/	〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている				

自己	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
評価	評価	模 口 	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49		けられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣へ散歩したり、買い物に出かけられるなどして 支援している。			
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持 したり使えるように支援している				
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている				
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている				
53	$ \ $	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	廊下や居間に椅子やソファーを置き、自由に使用していただいている。			
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る				
55	$ \ $	〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	個々を尊重し生活が送れるように工夫している。			